

新小6 分数のかけ算/わり算

■ 積の大きさ

1より大きい数をかけると、その積はかけられる数より大きくなる
1より小さい数をかけると、その積はかけられる数より小さくなる

(例) $\frac{5}{6} \times \frac{6}{5} = 1$ → 積(1)はかけられる数($\frac{5}{6}$)より大きくなった

$\frac{5}{6} \times 1 = \frac{5}{6}$

$\frac{5}{6} \times \frac{4}{5} = \frac{2}{3}$ → 積($\frac{2}{3}$)はかけられる数($\frac{5}{6}$)より小さくなった

■ 分数のわり算

分数のわり算は、わる数を**逆数**にしてかけ算する。

◎**逆数**…分子と分母を入れかえた数。かけて1になる数

(例) $\frac{2}{3} \rightarrow \frac{3}{2}$ $\frac{4}{5} \rightarrow \frac{5}{4}$ $3 \rightarrow \frac{1}{3}$

【分数÷整数】

(例1) $\frac{6}{5} \div 12 = \frac{6}{5} \times \frac{1}{12}$

$$= \frac{\cancel{6} \times 1}{5 \times \cancel{12}}$$
$$= \frac{1}{10}$$

【分数÷分数】

(例2) $\frac{7}{6} \div \frac{14}{9} = \frac{7}{6} \times \frac{9}{14}$

$$= \frac{\cancel{7} \times \cancel{9}^3}{\cancel{2}^2 \times \cancel{14}^2}$$
$$= \frac{3}{4}$$